



# 大野原

令和 8年 5月29日

合言葉 自信を持って自分らしく輝く子

裾野市立須山小学校



## 須山小の伝統「思いやり」

須山小学校長



5月は大きな校内行事が二つ行われました。一つは全校縦割り遠足、もう一つは4、5年自然教室です。

全校縦割り遠足は、今年初めて「小田原こどもの森わんぱくらんど」という場所に行ってきました。自然豊かな場所に複数の大型遊具が点在し、大きなつり橋やそり滑りができる芝生エリアもあるわくわく感が満載の場所です。ここでの活動は、縦割り班のリーダーである六年生が、下級生の興味関心や体力を考慮しながら道順や時間配分を事前に計画して出かけました。縦割り遠足の目的の一つに「上級生が下級生のことを考えて行動する」というのがあり、計画の段階からそのことを意識して取り組んできました。そして遠足当日。子供たちは魅力的な遊び場で大興奮。上級生も下級生も関係なく、どの子も息を弾ませながら夢中で遊びを楽しんでいました。そのような中でも、上級生の意識は常に下級生に向いていました。遊具に並んでいる時「先に使っていいよ。」と譲ってあげたり、遊び疲れて歩けなくなった一年生に「一緒に歩いてあげる。」と寄り添ってあげたり、常に時計を確認しながら「時間だよ。みんな集まって。」と指示を出したり等々、数えきれないほどの素晴らしい表れが見られ、上級生としての意識の高さに終始感心しきりでした。

もう一つの四、五年自然教室は、御殿場市にある「国立中央青少年交流の家」に一泊二日で行ってきました。ここでは、野外炊事でのカレー作り、キャンドルサービス、ゲームやウォークラリー等のレクリエーション、富士山プレート作りなど、ここでしかできない、学べない貴重な体験活動を経験してきました。ここでも上級生である五年生が大活躍を見せます。五年生は昨年度も自然教室を経験しているので、様々な場面で四年生のサポートをする姿が見られました。特にそれを感じたのが、カレー作りの場面です。「野菜はこうやって切るといいよ」「水加減はこれくらいかな」「薪の火のつけ方のコツはね…」経験者の言葉には説得力があります。五年生の的確な助言のおかげで全ての班において失敗なくカレーを完成させることができました。

どちらの活動も、皆にとって大変満足度の高いものとなりました。それは、活動内容が子供たちにとって魅力的であったことに違いはありませんが、そこに「上級生の存在」が大きく影響していたことも忘れてはいけません。上級生のちょっとした配慮や思いやりの気持ちが、下級生にどれだけの安心感を与えたのでしょうか。ここで紹介した場面以外でも、須山小学校は昔から上級生が下級生のお世話をするという伝統が受け継がれてきています。それは本校の「たからもの」だと私は思います。小学校だけではなく、人として生涯にわたって大切にしたい「思いやりの心」を、様々な人との交流を通してこれからも育ててほしいと願っています。

連日のクマ対応について、保護者や地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。登下校の送迎やパトロール等、子供たちのためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。一日も早く事態が収束することを願っております。

(保護者の方へ)入学時に「クマ鈴」をお渡ししています(振興会予算から購入させていただいています)。今後は安全対策のためランドセル等につけて登校するようにしてください。ご協力をお願いします。



# お知らせ♪



## ○「わたしの主張大会」

6月6日(土)9時半から、裾野市民文化センター多目的ホールにて行います。  
須山小学校からは6年生の.....さんが出場します。応援に行ける方は、ぜひ、市民文化センターに足を運んでください。送迎についてはご家庭でお願いいたします。



## ♥地域学校協働本部の紹介♥

- ・実行委員長 .....様
- ・スクールコーディネーター .....様

## チーム須山小 紹介 2♪

※学校と地域のボランティアの皆様をつないでくださいます。子どもたちの思いをたくさんのボランティアの皆様が叶えてくださっています。

## ♥コミュニティスクール♥

- ・コミュニティスクール ディレクター .....様
- ・学校運営協議会メンバー  
会長 .....様 副会長 .....様  
.....様 オブザーバー .....様


※学校がどのような教育を目指しているかを、保護者、地域、学校で共通理解し、その教育を実現するために話し合い、CSディレクターが地域と学校をつないでいます。

# 須山っ子アルバム♪

## 5月も多くのサポーターのみなさんに御協力いただきました。



子どもたちや学校の様子をホームページでお伝えしています。ぜひ、ご覧ください♪



## 『裾野市保護者等連絡窓口』について

令和8年6月以降も継続して実施することになりました。学校にご連絡・ご相談をされる際には、050-3651-0700へ電話をしていただくようお願いいたします。受付時間は、8:30~20:00です。本窓口は、文部科学省が行う実証事業で、スクリーンにてその趣旨についてはご説明をさせていただいております。

この取組を通して、これまで以上に教職員と保護者、地域が連携し、効率的な教育活動を行っていきたいと考えております。引き続きご理解、ご協力の程お願い申し上げます。